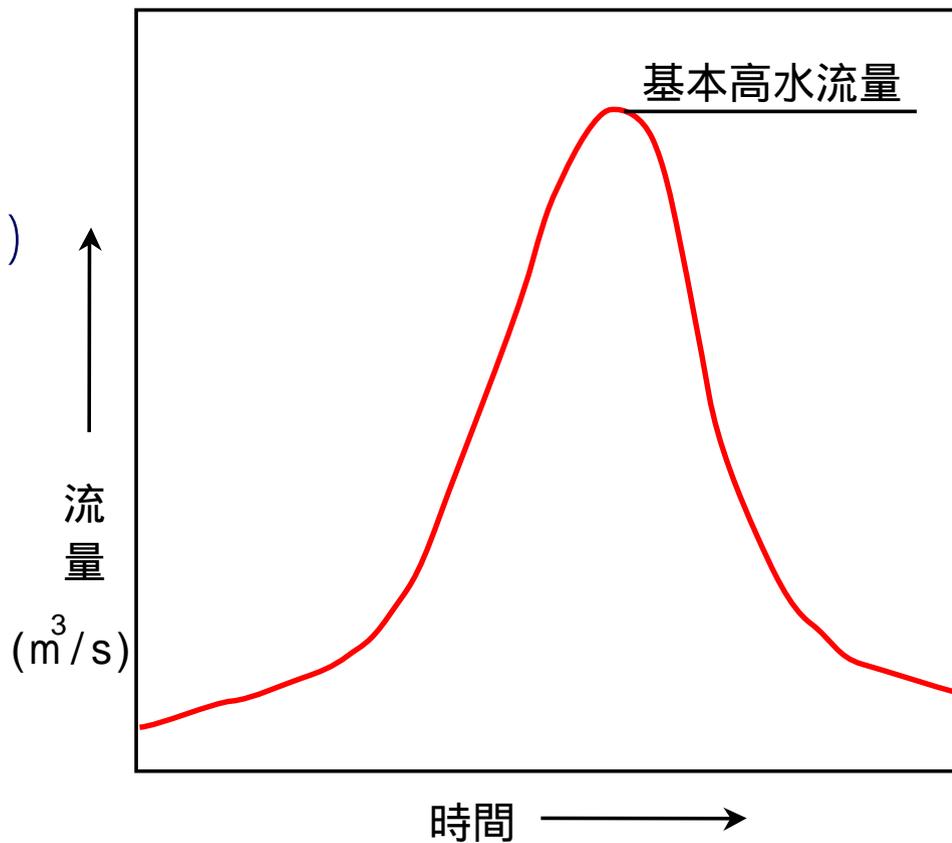


天塩川水系河川整備基本方針

平成15年2月4日策定

基本高水とは、洪水を防ぐための計画で基準とする洪水のハイドログラフ(流量が時間的に変化する様子を表したグラフ)です。

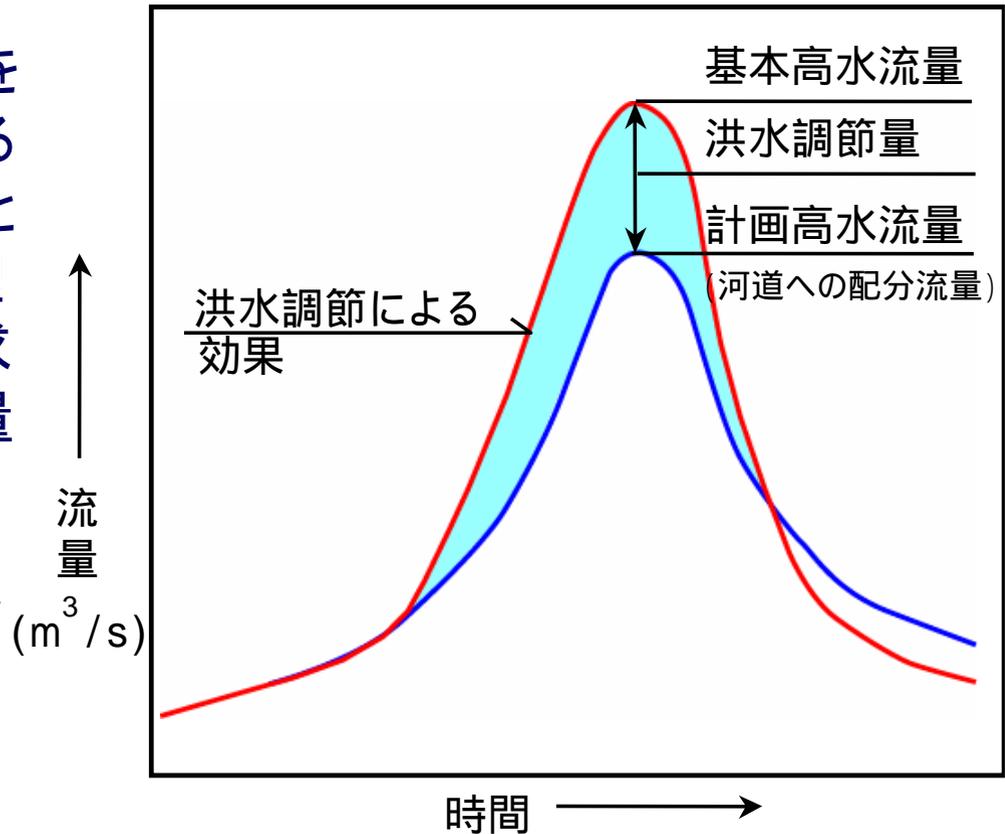
この基本高水は、人工的な施設で洪水調節が行われていない状態、言いかえるなら流域に降った計画規模の降雨がそのまま河川に流れ出た場合の河川流量を表現しています。基本高水流量は、このグラフに示される最大流量から決定された流量の値です。



基準地点におけるハイドログラフ

計画高水流量とは、河道を計画する場合に基本となる流量で、基本高水を河道と各種洪水調節施設に合理的に配分した結果として求められる河道を流れる流量です。

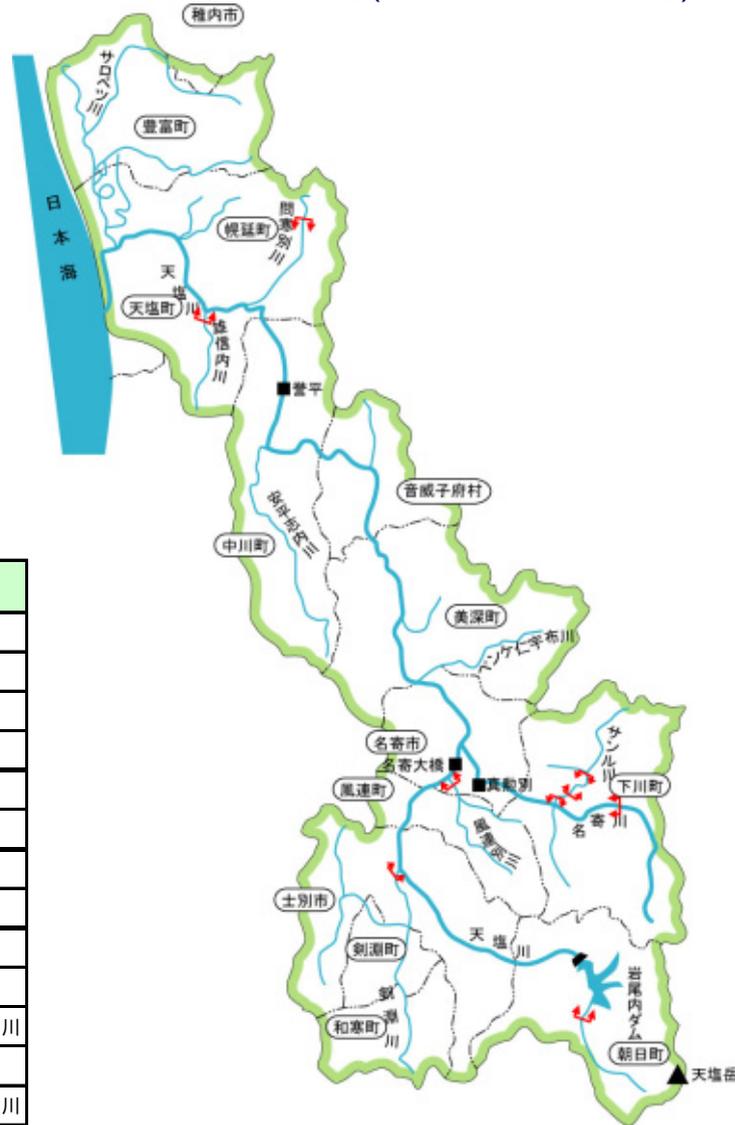
言い換えればこれは、基本高水流量から各種洪水調節施設での洪水調節量を差し引いた流量です。



基準地点におけるハイドログラフ

対象区間及び基準地点

対象区間：天塩川水系の指定区間外区間(大臣管理区間)及び2条7号区間



2条7号区間を有する支川

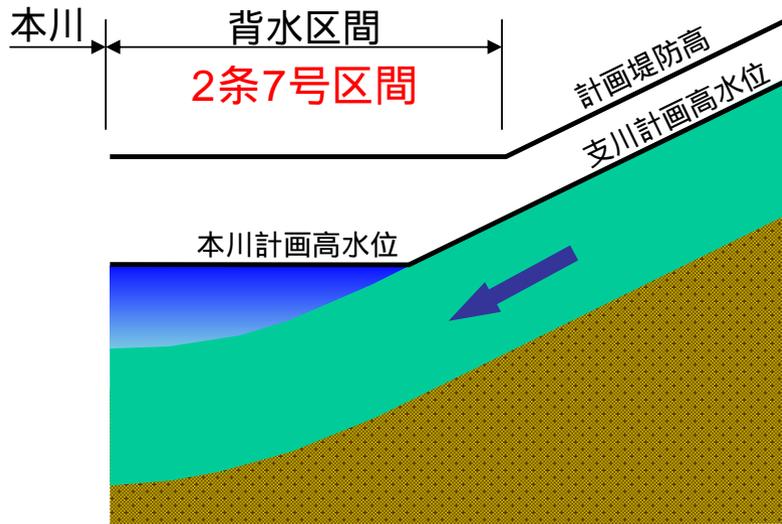
市町村名	河川名	市町村名	河川名
中川町	宇戸内川	名寄市	矢文川
	バンケナイ川		有利里川
	銅蘭川		豊栄川
	安平志内川		初茶志内川
音威子府村	ルベシベ川	下川町	サンル川
	音威子府川	下川ペンケ川	
美深町	ウルベシ川	風連町	タヨロマ川
	美深川	トーフトナイ川	
	美深6線川	士別市	新タヨロマ川
	川西6線川		オーツナイ川
	美深5線川		ワッカウエンナイ川
	イオナイ川		東内大部川
ペンケニウブ川	ヌプリシロマナイ川		

凡例

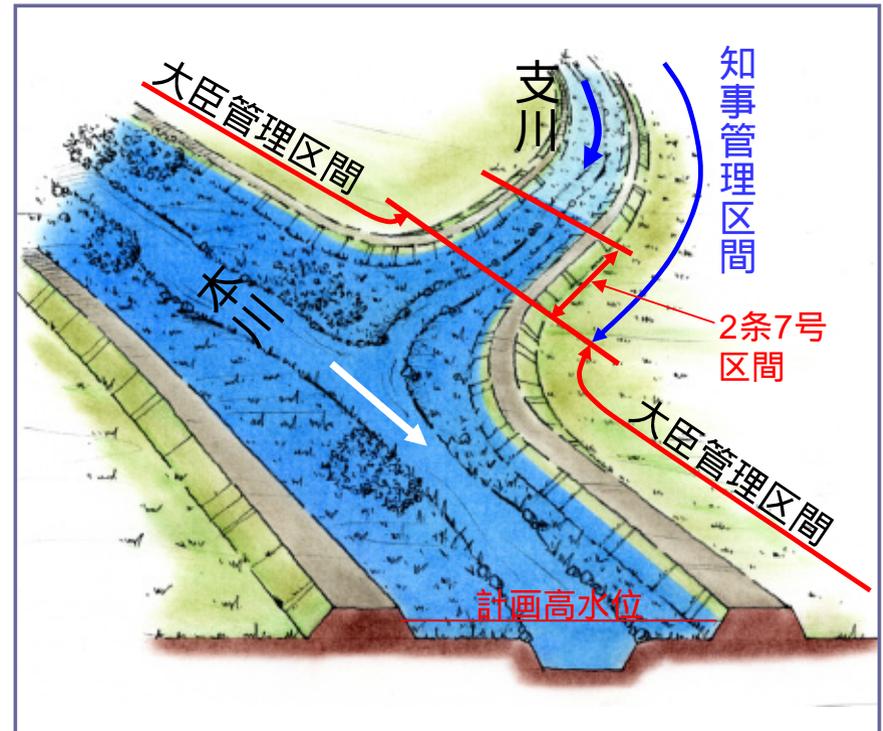
	基準地点
	流域界
	市町村界
	既設ダム
	指定区間外区間

2条7号区間(河川法施行令第2条7号)

指定区間外区間(大臣管理区間)の改良工事と一体として施行する必要があるため、国が工事を施行する一級河川の指定区間(知事管理区間)。



管理区間のイメージ



基本高水のピーク流量の算出 (誉平を例にして)

計画規模の設定

天塩川は、我が国有数の大河川であり、全国他河川流域とのバランスを総合的に勘案し、以下の計画規模を設定。

天塩川本川	1/100	主要支川	1/100
1/100:天塩川本川 名寄市を貫流する名寄川 士別市を貫流する剣淵川、その他支川			
全国の主要河川	1/200:利根川、荒川、淀川等 1/150:信濃川、石狩川、北上川等 1/100:沙流川、網走川、留萌川等		

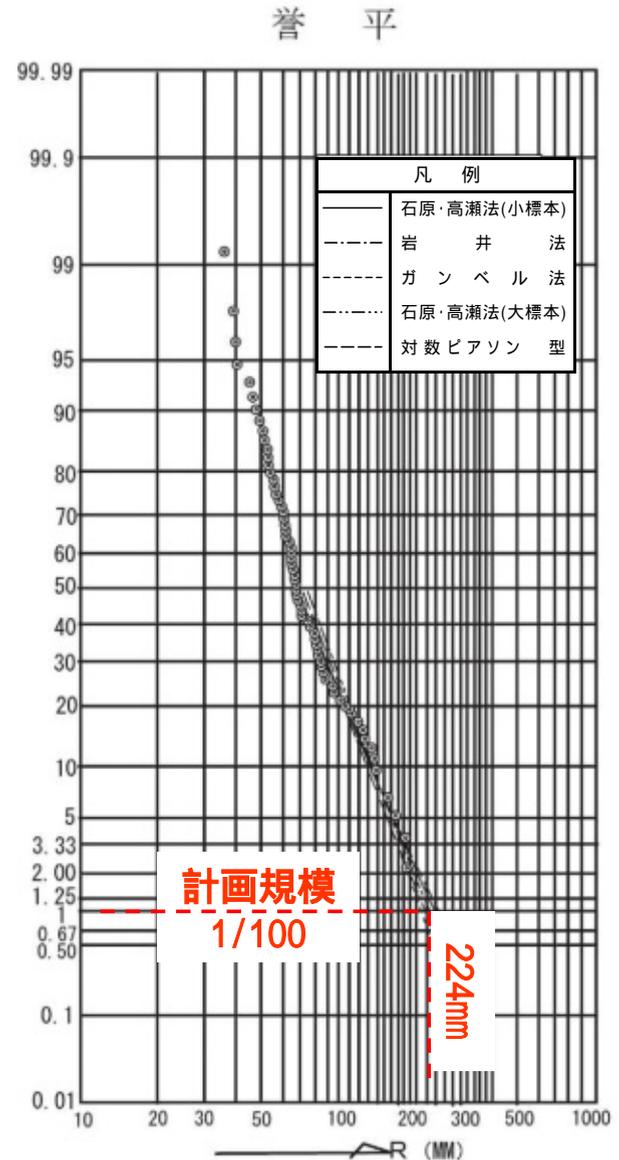
計画降雨量の設定

・計画降雨継続時間は、主要降雨が3日にわたっていること等から3日雨量を採用

・年最大3日雨量を確率処理し、計画降雨量を以下の値と決定

誉平地点

224mm / 3日



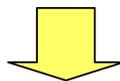
基本方針決定事項

基本高水流量の決定

主要洪水における計画降雨量への引伸ばしと流出計算

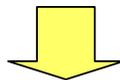
検討対象実績降雨群の選定

雨の降り方は時間的、空間的に様々であることから過去の主要洪水から検討対象実績降雨群を選定(4降雨)



実績降雨群の計画降雨群への引伸ばし

各実績降雨群を計画降雨量(224mm)まで引伸ばす

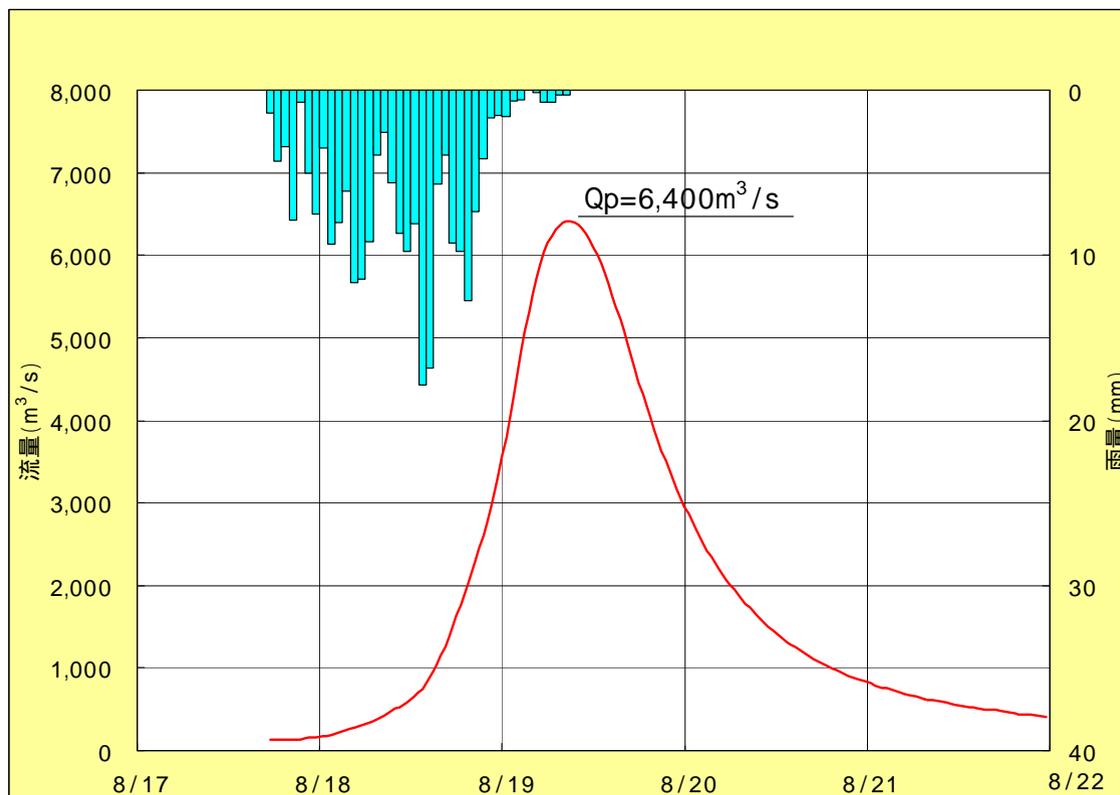


ハイドログラフへの変換

計画降雨群をハイドログラフ群へ変換

同じ224mmであってもピーク流量は様々な値となる

各ハイドログラフ群から誉平地点において、計算ピーク流量が最大となる昭和48.8パターンを採用



計算ハイドログラフ

ア．災害の発生の防止又は軽減（その1）

沿川地域を洪水から防御するため、岩尾内ダム等の洪水調節施設により調節を行うとともに、堤防の新設、拡築及び掘削を行って河積を増大させ、護岸、水制等を施工し、計画規模の洪水の安全な流下を図る。

サロベツ川においては、地域の土地利用、湿原環境の保全等を考慮した治水対策を実施する。

併せて、必要に応じ内水対策等を実施する。

計画規模を上回る洪水及び整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合においても、被害を最小限に食い止めるため、必要に応じて対策を実施する。

ア. 災害の発生の防止又は軽減(その2)

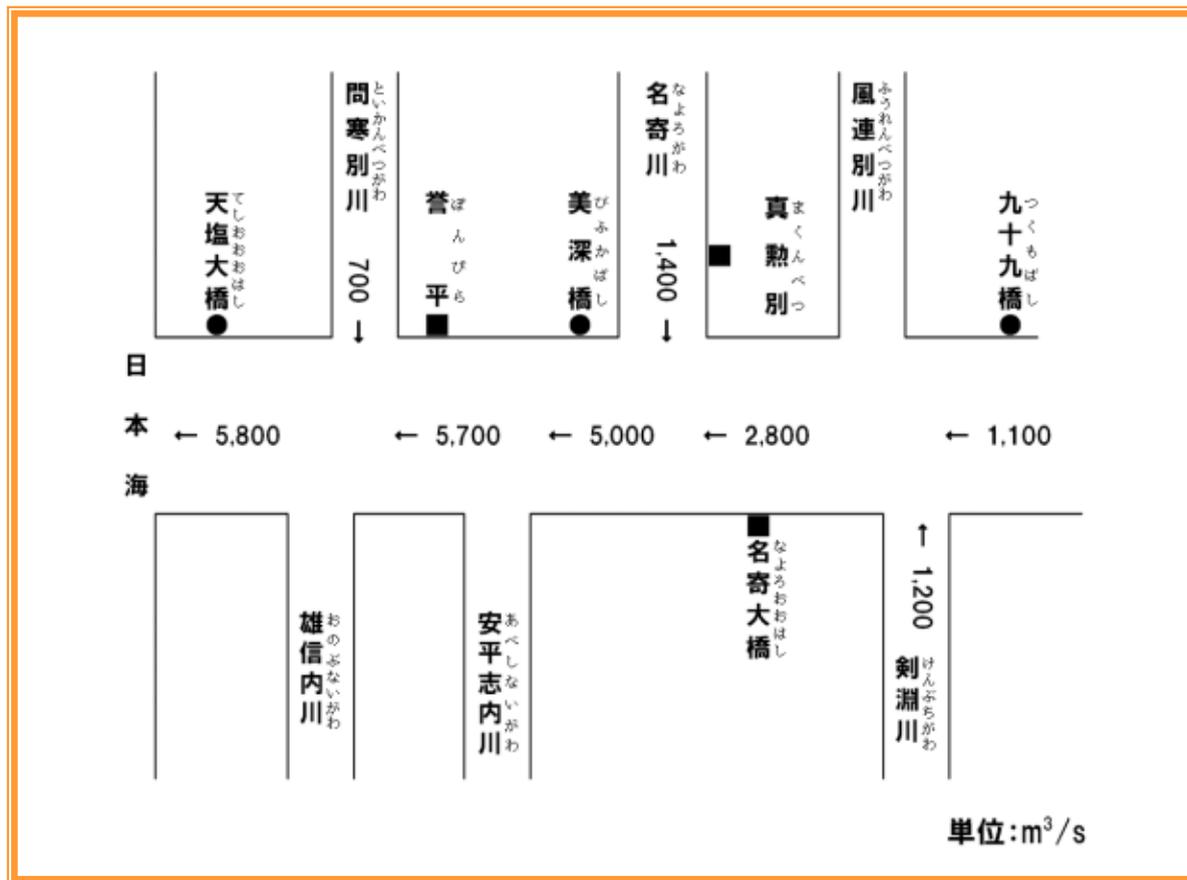
重要水防箇所等を重点的かつ円滑に水防が行えるよう関係機関等と連携を図る。

ハザードマップの作成支援、住民も含めた防災訓練等により災害時のみならず平常時からの防災意識の向上を図る。

洪水予報・水防警報の充実、水防活動との連携、情報伝達体制及び警戒避難体制の充実、土地利用計画との調整等、総合的な被害軽減対策を関係機関や地域住民等と連携して推進する。

本支川及び上下流間のバランスを考慮し、水系として一貫した河川整備を行う。

主要な地点における計画高水流量に関する事項



基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量等一覧表

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量 (m^3/s)	洪水調節施設による調節流量 (m^3/s)	河道への配分流量 (m^3/s)
天塩川	誉平	6,400	700	5,700
	名寄大橋	3,300	500	2,800
名寄川	真勲別	1,800	400	1,400

イ. 河川水の利用及び流水の正常な機能を維持するため必要な流量

農業用水及び都市用水の新たな需要に対処するため、水資源の開発、広域的かつ合理的な利用を図るとともに、流水の正常な機能を維持するため必要な流量を確保するよう努める。

渇水の発生時の被害軽減のため、情報提供、情報伝達体制の整備など関係機関や水利使用者等との連携を図る。

主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量

地名	流量
美深橋	概ね $20\text{m}^3/\text{s}$

ウ. 河川環境の整備と保全

天塩川を特徴づけるテッシの保全、天塩川らしい景観を構成する河畔林の連続性の確保、サケ・マスを始めとする魚類等の生息環境の保全、中下流部に点在する旧川の水質改善に努め、生物・水環境等の定期的な調査により、その実態を的確に把握し、治水面・利水面との調和を図る。

サロベツ原野については、動植物の生息生育環境と地下水、河川、湖沼等の水環境の保全を図る。そのため、動植物の生息生育環境と密接な関わりを持つ水循環を調査し、その解明に努める。また、保全にあたっては、地域の産業に配慮しつつ、地域住民、関係機関等と連携を図る。

天塩川が持つ歴史、文化を踏まえ、関係自治体等と調整して、天塩川の良い河川環境を生かし、人々が川と触れ合い親しむ水辺空間を整備する。また、カヌー等の河川利用による、天塩川を軸とした縦断的な地域連携の支援を図る。

天塩川流域全体の健全な水循環系の構築や良好な水質の保全等を図るため、流域の水利用の合理化、下水道整備等を関係機関や地域住民と連携しながら流域一体となって取り組んでいく。

エ. 河川の維持管理

災害の発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点から河川が有する多面的機能を十分に発揮できるよう地域住民や関係機関と連携しながら適切に行う。

河床維持、生物の生息生育環境の観点から、適切な河道管理を行う。

河川管理施設の巡視、点検、補修を行い、良好な状態に維持するとともに、これらの施設を管理するにあたって操作の確実性を確保しつつ高度化、効率化を図る。

河道内の樹木については、その治水及び環境上の機能や影響を配慮したうえで適正に管理する。

天塩川は地形的に狭窄部を多く抱えており、これらの区間における交通障害発生時にも、迅速な河川情報が収集提供できるように努める。

河川に関する情報を流域住民等に幅広く提供、共有することにより、河川愛護意識の醸成、環境教育の支援や川を軸とした地域づくりの活動との連携支援を推進する。